

札幌市立幌西小学校の取組

(学校ホームページ <http://www.kousai.sapporo-c.ed.jp/>)

1. 学校の実態・地域性等

札幌市の中心部に位置し、住宅地が多い地域である。山や河川などはなく、子どもたちが身近に自然に親しむ機会が多くはないため、雪を通じた体験活動は、自然に接する貴重な機会である。

2. 実践単元名

4年 総合的な学習 「スノーマイスターになろう」 (25 時間扱い)

3. 目標

- 雪と自分の生活とのかかわりを考えながら、工夫して課題に取り組もうとする。(関心・態度)
- 雪についての新しい見方や考え方をもつことができる。(見通しをもつ力)
- 自分たちの生活のために、今後どのように雪と暮らしていけばよいのかを考えることができる。(総合的な思考・判断)
- 自分の体験や経験を交えながら、調べたことを工夫しながらまとめることができる。(表現力)

4. 取組の様子

(1) 雪のすがたをさぐる

子どもにとって、当たり前になっている「雪」について再認識する場を構成する。雪の重さや形状、種類などを、制作活動や実験活動を通して、その美しさやおもしろさを味わうのがねらいである。

子どもたちは、雪がどのような状態の時に固めやすいか、温度は高さによって違うのか、など自分の興味のある分野を選択して取り組んだ。

(2) もっと！雪のすがたをさぐる

雪を科学的な視点でとらえる学習活動である。中谷宇吉郎博士没後 50 周年であることから、その研究を子どもたちにも追体験させる。

専門家である、北海道教育大学の高橋庸哉先生をゲストティーチャーにお招きし、雪の生まれるひみつや、雲の動き、結晶の種類、観察の仕方などを教わった。子どもたちは、なぜ北海道にこれほど雪が降るのがわかったり、結晶のおもしろさや、その神秘性に気付いたりした。

子どもたちは「もっと雪について調べたい」「結晶を観察したい」という強い願いをもち、10 倍程度の専用ルーペでより詳しく雪を観察した。その感動を川柳にして発表した。



(3) 市民生活と雪との関係について考えよう

子どもたちにとっては「魅力的な雪」でも、札幌市民全体で見ると、日常生活を困難にさせることもある。社会科「雪と暮らす」での除雪の学習からの発展として、各家庭や地域の除雪の工夫を調査する。子ども



たちは、道路の除排雪調査や、市民ボランティアとして活動している方、除雪作業している方へのインタビュー活動を行った。このような体験活動を通して、お年寄りの家が特に困っていることに気が付いた子どもたちは、「幌西除雪レンジャー隊」として、除雪ボランティアを行った。札幌の除雪は、その費用や距離、システムだけでなく、それらを支えている人々がいるからこそ世界一であり、自分たち市民もその一人であるという協働の意識が芽生えていった。



(4) プレゼンテーションに挑戦しよう

これまでの活動から、テーマごとにグルーピングを行い、ソフトを使ってプレゼンテーションにまとめた。スライドの内容（テーマ）、言葉の精選、目線の置き方、間の取り方などを評価項目とし、学年内でプレゼンコンテストを行った。選ばれた4グループが札幌市雪対策室主催の「雪と暮らすおはなし発表会」プレゼンコンテストに参加し、うち、1グループが銀賞を獲得することができた。また、17チームはコラージュにまとめて、掲示作品として参加した。



(5) もっと！雪を楽しもう！スノーマイスター学年集会

様々な雪に関する学習活動を学年161名で行ってきた。年度末において、学年の結束をより深めることをねらって、学年集会を企画したり、子どもたちでアイデアを出し合ったりした、雪中綱引きや雪川柳大会など、来年も雪のおもしろさを追究していくことができると考えている。



- ・スノーキャンドルグループ
- ・イグルーグループ
- ・雪の温度実験グループ
- ・雪中シャボン玉実験グループ
- ・札幌の除雪調査グループ
- ・雪の結晶調査グループ

5. 研究のまとめ

○子どもたちは、ふだんから雪と接しているが、固める、温度を測る、拡大する（結晶）などする活動を通して、雪には様々な形態があることに気が付いていった。このような体験活動は、新しい見方や考え方をもつためにたいへん有効であった。

○「本当に札幌の除雪は世界一なのだろうか？」という課題をもって、除雪に関わっている人や、お年寄りなどの地域の方と主体的に人と関わることができた。このような活動は、雪と自分の生活とのかかわりを考え、今後どのように雪と暮らしていけばよいのかを考えることができた。工夫して課題に取り組もうとする意識を培うことができた。

○自分の体験や経験を交えながら、調べたことをプレゼンテーションに工夫しながらまとめた。「もっとわかりやすく」という意欲が向上し、言語活動をより充実することができた。

■参考

札幌市雪対策室

<http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/>

北海道雪プロジェクト 雪たんけん館

<http://yukipro.sap.hokkyodai.ac.jp/>

中谷宇吉郎雪の科学館

<http://www.kagashi-ss.co.jp/yuki-mus/index.html>